



伝統の灯を消すな！はしごのぼりの保存継承



問／板倉のはしごのぼりは130年以上にわたり、その技能が継承され、今や上越消防団唯一の担い手として団員の誇りと士気高揚に貢献している。市の「地域の宝」にも認定されているが、資器材の調達や後継者の育成など保存継承していくための支援が必要だ。「伝統の灯を消すな！」この声にどう応えていくのか。

答／はしごの上部で演技する登り手を担う若手団員が減少しており、将来にわたり、はしごのぼりを保存継承していくためには、後継者の確保が重要であると認識している。今後、



広報上越や市のSNSなどの啓発により、広く市民に向けて「板倉のはしごのぼり」のPRを行い、認知度の向上を図るほか、全団員を対象に登り手の希望者を募集するなど、後継者の確保を強化していく。市と消防団が連携して伝統の灯を守っていききたい。



新潟労災病院の医療再編計画



問／令和5年12月以後、医療再編について説明がないが、誠意ある対応をするべきではないか。

答／医療機能の再編や上越医療圏域の医療再編の目的、必要性について医療構想調整会議の議論の進捗が図られた段階で、県、関係市との共催による市民説明会を開催する。

津波への備えと周知徹底を

問／近い将来発生するといわれている津波への備えと周知をどう考えているか。

答／現行の津波ハザードマップに基づく対応を基本とし、「正しく恐れ、正しく備える」ことの大切さや、「強い揺れを感じたら、近くの高台や津波避難ビルに避難する」という基本的な避難行動の重要性を広報上越や訓練時など、あらゆる機会を通じて浸透を図る。



新潟労災病院



津波遡上



津波の破壊力



震災に備えた木造住宅 家屋倒壊対策を聞く



問／石川県が公表した能登半島地震による死亡の状況を見ると、犠牲者の多くは家屋倒壊に伴う窒息死や圧死によるものであった。当市でも耐震対策を行ってきたが、今後想定される震災に備えた家屋倒壊対策の考えを聞く。

答／木造住宅の耐震化の遅れが課題である。令和6年度予算で、無料耐震診断の件数拡充や耐震改修補助金の増額、耐震化が困難な高齢者等への支援策として、安全な空間の確保のための耐震シエルトや耐震ベッドの補助件数を拡充する。

問／耐震診断の結果、耐震性不足と判定されても費用面で耐震補強工事に着手できない。命を守るため、比較的安価で施工できる耐震シエルトを展示・紹介するなどの取り組みが必要と考えるがどうか。

答／耐震シエルトなどを取り扱うメーカーから貸し出しを受けた上で展示などを検討したい。

問／高田・直江津地区は、雁木長屋が連坦する地域である。取り壊しなどで歯抜け状態となった長屋家屋の耐震性や、倒壊に伴う類焼火災による甚大な被害が懸念される。長屋家屋の小屋裏壁処理や解体時における耐震性の有無は地域特有の課題と考えるがどうか。

答／連坦する建物の解体に伴い、歯抜けとなる長屋家屋の耐震性については、今後研究していく。